

令和2年度 アンケート集計結果

「道路安全性検討委員会」事務局

目次

1. アンケート調査の概要	3
2. 既存の事故危険区間や 新たな事故危険区間に関するアンケート	5
3. 事故対策実施区間の評価アンケート	9

1. アンケート調査の概要

■今年度のアンケート方法について

- 新型コロナウイルスの感染リスクがないホームページアンケート調査により、既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートを実施
- Webモニターにより回答数を確保

① 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

昨年度

● ホームページアンケート

● ヒアリングによるアンケート

● ハガキ付きパンフレットによるアンケート

継続

今年度

● ホームページアンケート
(Webモニターアンケート)

② 事故対策実施区間の評価アンケート

昨年度

● Webモニターアンケート

継続

今年度

● Webモニターアンケート

1. アンケート調査の概要

■アンケートの媒体

調査種別	媒体	実施内容	実施期間
①既存の事故危険区間 や新たな事故危険区 間に関するアンケート	ホーム ページ	・事務所HP「事故ゼロプラン道路利用者アンケート」を継続	昨年度～継続中
		・新潟県内の直轄国道に対して改善要望や危険を感じることもある新潟県在住のWebモニターを事務所HPへ誘導、アンケート調査を実施	令和2年10月30日～ 令和2年11月24日
②事故対策実施区間の 評価アンケート	Web	・事故対策実施区間 6区間の評価について、新潟県在住のWebモニターを対象として、インターネットによるアンケート調査を実施	令和2年11月20日～ 令和2年12月7日

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

■ 調査概要

- ホームページアンケートを実施
- Webモニターにより回答数を確保するとともに、回答の品質を確保するためスクリーニング調査を実施したうえでホームページアンケートに誘導
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートを実施

■ 設問構成

問1. 事故対策未実施区間について 交通事故の危険を感じる区間、早く対策を行った方が良いと思う区間を教えてください。
問2. 事故危険区間以外の区間について 交通事故の危険を感じる場所とその理由を教えてください。
問3. 事故ゼロプランという取り組みを知っていましたか？ ①認知度、②認知媒体
問4. その他、交通安全対策に関するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。
問5. 属性 ①年齢、②性別、③住所、④利用交通手段、⑤自動車の利用頻度、⑥自動車の利用目的

■ アンケートの回答数

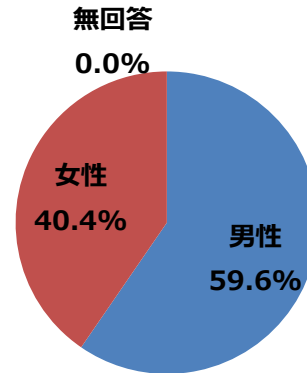
調査種別	R1年度	R2年度
ホームページアンケート	113件	※631件
ヒアリング調査	544件	—
ハガキアンケート	18件	—
合計	675件	631件

※Webモニターによる回答を含む

■ アンケート回答者の属性

■ 性別

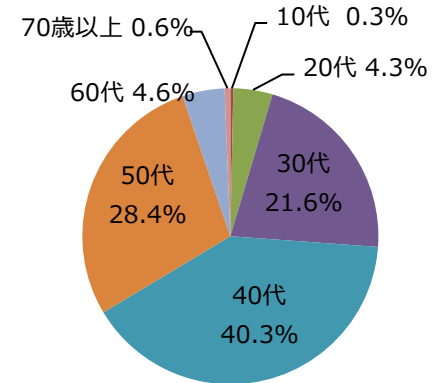
男性の回答が多い



N=631

■ 年齢

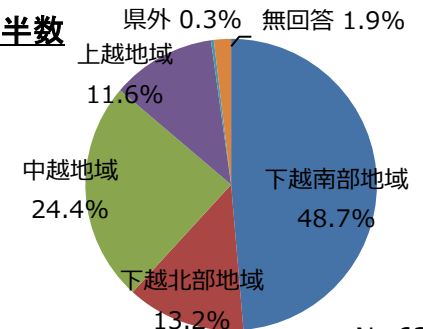
30～50代が多い



N=631

■ 居住地

下越南部地域の回答割合が約半数



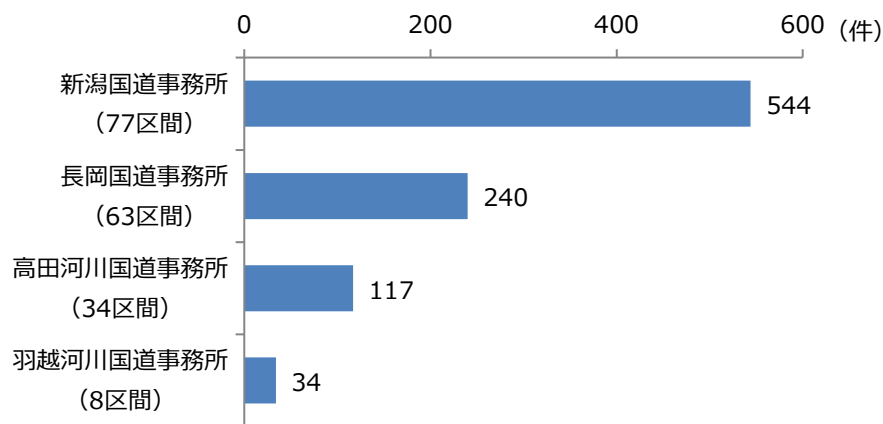
N=631

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

■未対策実施区間における対策要望について

- 対策要望が最も多かったのは新潟国道事務所管内の事故危険区間であった。
- 路線別では、国道8号の事故危険区間に対する要望が最も多かった。

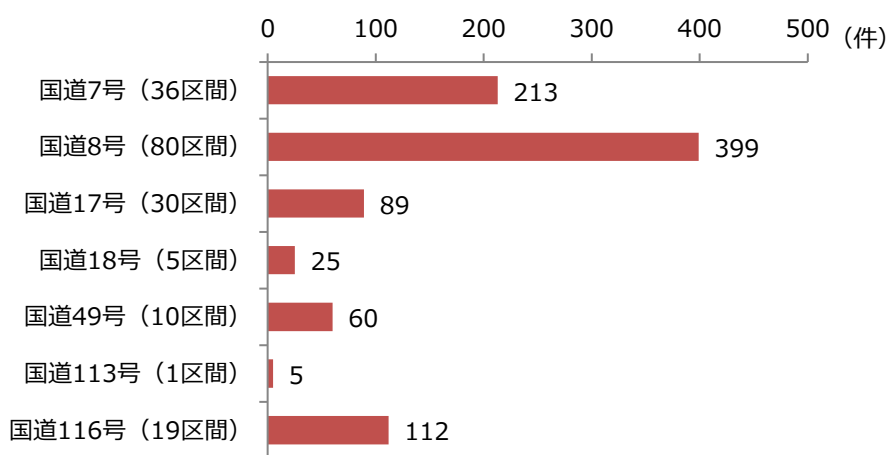
■事務所別の対策要望件数



■対策要望の多かった区間

順位	区間	路線	区間名	市区町村	要望数
1	157	(8)	紫竹山IC	新潟市中央区	32
2	165		7紫雲橋交差点～紫竹山IC	新潟市中央区	25
2	235		8黒埼IC～山田堤付交差点	新潟市西区	25
4	96		8高瀬町～喜多東交差点	長岡市	22
5	10		7竹尾IC	新潟市東区	21
6	19		8女池IC	新潟市中央区	20
6	378		116小新IC→新潟西IC	新潟市西区	20
6	214		8川崎IC交差点	長岡市	20
6	126		17川崎南交差点	長岡市	20
10	177		49姥ヶ山IC	新潟市江南区	17
11	11		7濁川 I C	新潟市北区	16
12	256		8須頃三南交差点	三条市	15
13	13		7緑町交差点	新発田市	14
13	204		8弁天IC→桜木IC (下り線)	新潟市中央区	14
13	18		8桜木IC	新潟市中央区	14
16	17		7柳都大橋南詰交差点	新潟市中央区	13
16	266		7一日市IC	新潟市東区	13
16	375		8大野町(大野大橋北詰)	新潟市西区	13
19	51		116田島交差点～田島入口交差点	新潟市西区	12
19	318		116亀貝IC	新潟市	12
19	149		8曾地	柏崎市	12
19	133		8下源入交差点	上越市	12
23	147		8大積1丁目	長岡市	11

■路線別の対策要望件数



2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

■ 事故危険区間のアンケート新規抽出

- 事故危険区間以外で、交通事故の危険性の高い区間について回答を求めた。
- 今年度のアンケートによる新規事故危険区間は2区間であった。

■ アンケートによる事故危険区間の新規抽出について

Q. 事故危険区間以外に、交通事故の危険性が高いと思われる区間とその理由を記入してください。

自由回答形式で答えてもらい、
複数の回答を頂いた箇所を新規候補箇所として抽出

12区間

- ・隣接区間の統合
- ・管理事務所等の意見照会

R2年度アンケート新規抽出区間

2区間

■ 参考: アンケートによる新規抽出区間数の経緯

R1年度

新規抽出区間

2区間

アンケート総数

675件

R2年度

新規抽出区間

2区間

アンケート総数

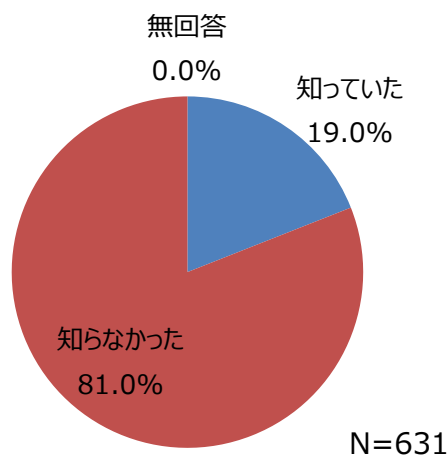
631件

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

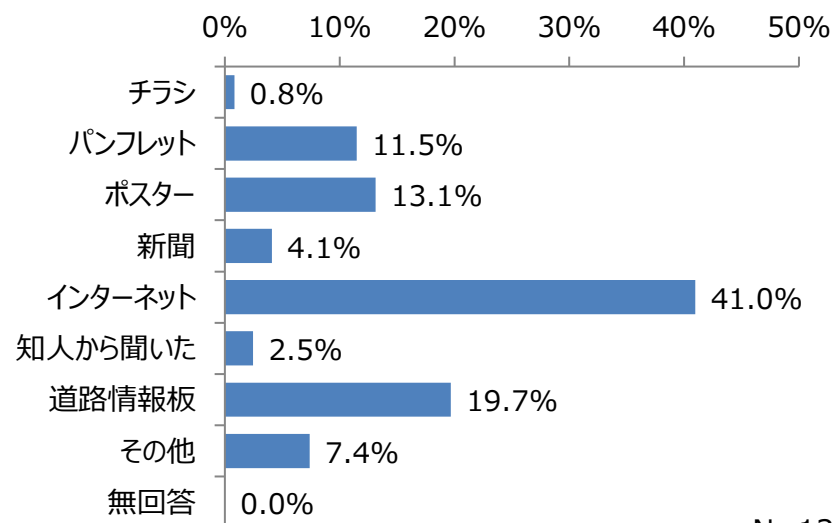
■ 事故ゼロプランの認知度・認知媒体

- 事故ゼロプランの認知度：19%
- 事故ゼロプランの認知媒体は、インターネットが最も多く、次いで道路情報板、ポスター、パンフレットの順に多かった。

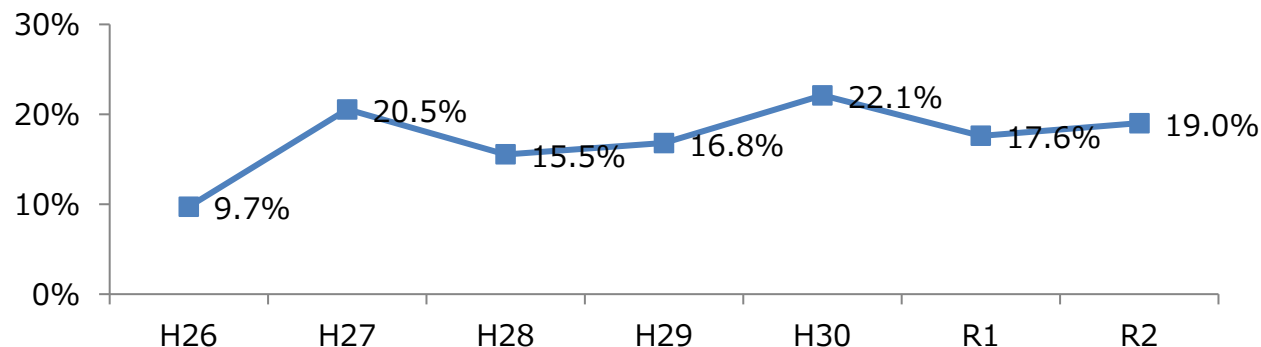
■ 事故ゼロプランの認知度



■ 事故ゼロプランの認知媒体



■ 事故ゼロプランの認知度の推移



3. 事故対策実施区間の評価アンケート

■ 調査概要

- 新潟県在住のWebモニターに対し、対策箇所を1ヶ月に1回以上利用する方を抽出した。
- 対策内容を認知しているか把握し、事故対策箇所の評価に関するアンケートを実施した。

新潟県在住の
Webモニターを対象

事前調査

Q.対象区間の通行頻度をお聞
かせください。



1. ほぼ毎日
2. 週に4~5日程度
3. 週に数回程度
4. 1ヶ月に数回程度
5. 年に数回程度
6. ほとんど利用しない・
利用したことがない

本調査

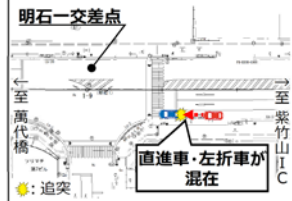
Q.下図に示すような対策を実施しました。ご存知でしたか？

●位置図



●事故発生状況

- 多車線区間で、一番左側の車線は直左車線のため直進車と左折車が混在している。
- 左折車の急減速・急停止に、後続車の対応が遅れたと考えられる追突事故が発生している。



●対策前



●対策内容

- 注意喚起として、
・「追突注意」の
注意喚起路面標示を設置

●対策後 (R1年度)



対策箇所や対策内容、
効果、写真等を掲載

1. 知っていた

2. 知らなかった

Q.対策によって注意す
るようになったこと
(自分の運転の変化)

Q.対策によって減った
と思う事故危険事象
(他人の運転の変化)

Q.事故対策の評価

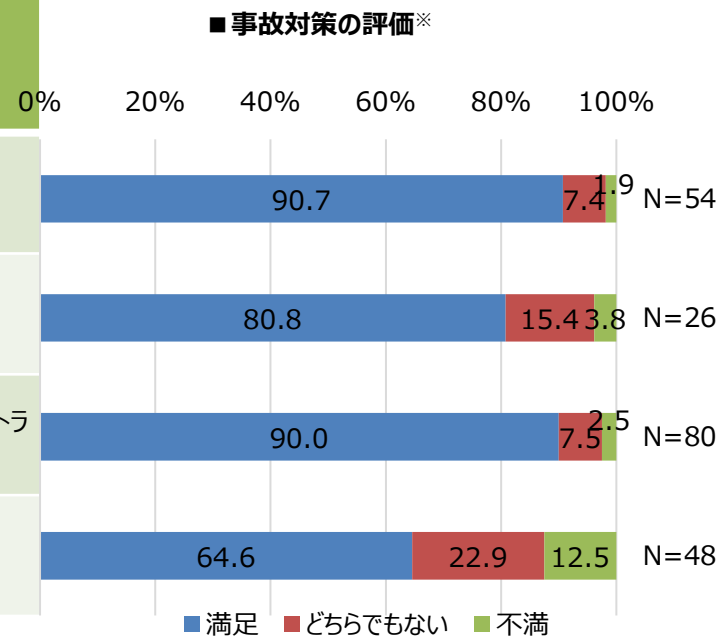
Q.自由意見

3. 事故対策実施区間の評価アンケート

■ 対策実施済み区間における評価について

- 評価を行った全ての区間で、約6割以上が「満足」という回答を得た。
- 蛇ノ沢洞門～朝日トンネル、竹鼻は9割以上が「満足」という回答を得た。

区間番号	担当事務所	路線名	市区町村名	対象区間(地先名)	対策完了年度	対策内容
332	羽越		7 村上市	蛇ノ沢洞門～朝日トンネル	R1	カラー舗装
162	高田		8 上越市	有間川～間脇	R1	自転車通行帯（ブルーライン）の明示
156	高田		8 上越市	竹鼻	R1	カーブと勾配を緩和（視距改良）・ドットライン
262	新国		7 新潟市	明石一	R1	注意喚起路面標示



※対象区間の日常的利用者（1ヶ月に1回以上利用）のうち、**事故対策を知っていた方**を対象